

1. 口頭発表プログラム (C棟・5階・C501教室)

11月7日(土) 午前の部

※パワーポイントを使用される発表者は、8:50~9:10amの間に会場にて準備して下さい。

発表番号	時間	演題・発表者
O-01	9:15~	持続可能な野生生物保護管理のための関係性モデルの提案 敷田 麻実
O-02	9:30~	環境保全における過去の人間の営みの再評価に関する考察 —アザメの瀬自然再生事業を例に— 富田 涼都
O-03	9:45~	精進湖内の異なる生息環境におけるオオクチバスの食性の差異 角田 裕志*・千賀 裕太郎
O-04	10:00~	ニホンカモシカとニホンジカの異所的分布形成 丸山 直樹*・小金澤 正昭・赤坂 猛・飯村 武
O-05	10:15~	ニホンジカによるスギ・ヒノキの樹皮食害 被害痕の特徴から発生時期を推しはかる 佐野 明
O-06	10:30~	エゾシカ狩猟者の意識に基づく個体数管理施策の効果予測 車田 利夫

11月7日(土) 午後の部

※パワーポイントを使用される発表者は、12:30~12:50pmの間に会場にて準備して下さい。

発表番号	時間	演題・発表者
O-07	13:00~	森林内での給餌はイノシシの行動にどのような影響を及ぼすのか 小寺 祐二*・長妻 武宏・澤田 誠吾・藤原 悟・金森 弘樹
O-08	13:15~	足利市におけるイノシシ箱罠捕獲の現状について 仲谷 淳*・新部 公亮・松田 奈帆子・矢野 幸宏・丸山 哲也・ 須永 重夫・山本 圭介
O-09	13:30~	乗鞍岳で発生したツキノワグマによる人身事故の原因解明(速報) 中川 恒祐*・八代田 千鶴・久保 正仁・浅野 玄・鈴木 正嗣
O-10	13:45~	農業者のヒグマ被害認識に社会的要因が与える影響 —上川町を事例に— 久保 雄広
O-11	14:00~	(この演題はキャンセルされました)
O-12	14:15~	放鳥前後を通じたトキ放鳥に関する住民意識 本田 裕子
O-13	14:30~	千葉県流山市における森林面積と鳥類の種数・個体数の関係 斉藤 裕*・吉田 正人
O-14	14:45~	インドネシア、パンガンダラン自然保護区におけるシルバールトン (<i>Trachipithes auratus</i>)の個体群動態 渡邊邦夫*・三谷雅純・田中俊明・バンバン・スヨブ・モト・ハティ・イスマル・ クワン・J・グルマヤ・エイ・N/カント・I ワン・ティルカ・ユサ・マテ・ウエダナ 6 エティ・ ブロトイソワ

2. ポスター発表プログラム (B棟・4階・B412/B413教室)

※発表者は次の指定の時間にポスター前での説明、質疑応答をして下さい。

偶数番号：11月7日(土)午後2時～午後3時まで。

奇数番号：11月7日(土)午後3時～午後4時まで。

偶数/奇数の両方：11月8日(日)午前11時15分～正午まで。

発表番号	演題・発表者
P-01	岐阜県におけるカモシカおよびシカの生息分布に影響する環境要因 八代田 千鶴*・浅野 玄・鈴木 正嗣
P-02	四国南西部・三本杭におけるニホンジカによる天然林の剥皮被害 奥村 栄朗*・奥田 史郎・伊藤 武治・酒井 敦
P-03	シカとぶつかるシチュエーションを考える 野呂 美紗子*・鹿野 たか嶺・原 文宏・萩原 亨
P-04	知床半島のエゾシカにおけるミトコンドリアDNA多型を用いた遺伝学的解析 山崎 翔気*・浅野 玄・鈴木 正嗣
P-05	ニホンジカの高密度化に伴う植生の改変が鳥類群集に与える影響 奥田 圭*・小金澤 正昭
P-06	シカの高密度化による林床植生の改変がハタネズミに与える影響 大谷 道生*・小金澤 正昭
P-07	野ネズミ類の密度推定法としての足跡法の有効性 森田 淳一*・須田 知樹・芝崎 亜季子
P-08	トラップ法を用いたツキノワグマの生息環境解析 中山 直紀*・小金澤 正昭
P-09	いつ・どこでツキノワグマは出没するのか? 許勢 文郁*・加藤 祐子・山本 俊昭・上池 久美子・田中 純平・玉谷 宏夫・ 横山 昌太郎・小山 克
P-10	長野県軽井沢町に生息する雌ツキノワグマの土地利用解析 加藤 祐子*・許勢 文郁・山本 俊昭・上池 久美子・田中 純平・玉谷 宏夫・ 横山 昌太郎・小山 克
P-11	軽井沢町におけるツキノワグマ捕獲状況と対策の課題 玉谷宏夫*・横山昌太郎*・田中純平*・上池久美子*・春山明子*・小宮山英一
P-12	ヒグマをめぐる渡島半島地域住民の意識の変化 亀田 正人*・丸山 博
P-13	中部大学研修センターにおけるアカネズミの植生別ハビタット解析 吉田 考志*・久保 壮史・大畑 直史・寺井 久慈・南 基泰・上野 薫
P-14	神奈川県におけるハクビシン有害捕獲個体の性年齢構成 和田 康佑*・加藤 卓也・鄭 和美・浜本 健三・宇野 太基・羽山 伸一
P-15	ハクビシンにおける胎盤痕の残存期間に関する研究 濱本健三*・鄭和美・加藤卓也・和田康佑・宇野太基・羽山伸一
P-16	群馬県におけるハクビシンの食性と生息状況 姉崎 智子*・坂庭 浩之・田中 義朗
P-17	高標高域におけるハクビシンの行動圏の季節変化 關 義和*・小金澤 正昭

発表番号	演題 ・ 発表者
P-18	島根県におけるニホンザルの生息・被害・対策の実態と今後の取り組み 澤田 誠吾*・金森 弘樹・竹下 幸広
P-19	集落内の食物資源量がニホンザルの集落利用に与える影響 遠藤 美香*・鈴木 克哉・室山 泰之
P-20	コウモリの音声構造の種内変異についての検証 福田 大介*・永井 靖弘・阿部 純・柳川 久
P-21	栃木県・茨城県・千葉県における洞窟棲コウモリの分布状況 中村光一朗*・上條 隆志・安井 さち子
P-22	秋田県横手市のモモジロコウモリ保全用人工洞とその利用 向山 満
P-23	非積雪期におけるエゾモモンガによる樹洞営巣率の変化 鈴木 圭*・森 さやか・柳川 久
P-24	伊豆半島南西部におけるフクロウの分布の季節的变化 鏡内 康敬*・丸山 直樹
P-25	琵琶湖で越冬する水鳥の湖岸利用の実態と船の航行の影響の継続時間 橋本啓史*・須川 恒・西野 麻知子・石川 俊之
P-26	ため池が地域の魚類多様性維持に対して果たす役割 満尾 世志人*・大平 充・角田 裕志・庄野洋平・千賀裕太郎
P-27	河口湖湖岸に造成されたビオトープ内の魚類相 角田 裕志*・満尾 世志人
P-28	阿武隈山地北部のトウホクサンショウウオにおける結節の発生 伊原 禎雄*・稲葉 修・佐藤 宏・宇根有美
P-29	ニホンカワウソの絶滅過程と新聞記事における扱われ方 山本 佳代子*・安藤 元一・小川 博・天野 卓・秋篠宮 文仁
P-30	群馬県桐生市で有害捕獲されたニホンイノシシ(<i>Sus scrofa</i>)の性年齢構成 若澤 英明*・畠 賢児・梅田 健太郎・安富 舞・羽山 伸一
P-31	地域で取り組む獣害対策：電気牧柵の設置の動態に関する地域研究的考察 西崎 伸子
P-32	音を用いたエゾシカ対策の検討 鹿野 たか嶺*・吉田 啓志・野呂 美紗子・山川 晃
P-33	忌避条件付けの有無によって、ツキノワグマの行動に違いがあるか 関 香菜子*・横山 真弓・森光 由樹・斎田 栄里奈・室山 泰之
P-34	合意形成に向けた取り組み ～軽井沢町での活動～ 森 由紀子*・鈴木 久美子・打越 綾子
P-35	住民発表型シンポジウムで得られた効果 鈴木 久美子*・森 由紀子・打越 綾子

3. テーマセッション

番号	会場	日時	テーマ ・ 開催責任者
TS-1	B棟 B411	11月7日 9:00～	野生動物と地域社会の軋轢緩和に向けた住民意識調査の役割 打越綾子
TS-2	B棟 B415	11月7日 13:00～	ニホンジカの資源的活用とその留意点 I —安全性と衛生の課題— 横山真弓・鈴木正嗣
TS-3	B棟 B414	11月7日 13:00～	行政研究部会集会 「生物多様性の保全と野生生物の駆除・防除」 逸見一郎
TS-4	B棟 B415	11月7日 15:00～	青年部会（グリーンフォーラム）主催 コミュニケーション・フォーラムおよび総会 ～よそ者と地域のかかわりを考える～ 青年部会幹事 第5回CF担当： 野呂美紗子・江成広斗・遠藤美香・角田裕志・中村大輔
TS-5	B棟 B411	11月8日 13:00～	餌付け問題を考える 小島 望
TS-6	B棟 B414	11月8日 13:00～	人と野生動物のあつれき解消にむけた社会科学の役割と可能性 鈴木克哉
TS-7	B棟 B415	11月8日 13:00～	人口減少社会における野生生物保全①： 魚類の保全を目的とした「ため池」の維持管理 角田裕志・満尾世志人・江成広斗